



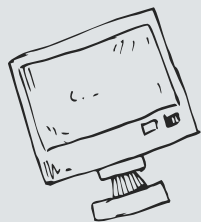
犬山教育シンポジウム これからの教育と読解力



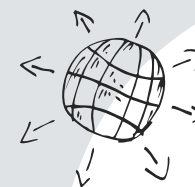
未来を切り拓く子どもの育成 —“犬山読解力”の可能性—



2022. 8. 18



森川 拓也
(桜花学園大学)



読解 = 「読」+「解」

見る・聞(聴)く

見えているもの(言葉・文)を…
見えないもの(言葉・文でないもの)を…

読む

疑問・謎・問いが存在し、
それを解決する

解かる

解いて解かる

犬山読解力

読解力を身につけるための壁

日常生活はもとより、学習の場面でも、疑問や謎、問題を自分から見つけたり、作ったりすることが難しい。

(あえて読解する必然性がない)



心の安定を求める傾向

あたりまえ
見慣れた
安定
自然
整合性
落ち着き

違和感や謎を避けて、自分の都合の
良いように解決してしまう。



違和感
見慣れない
不安定
不自然
矛盾
落ち着かない

読解力を発揮するきっかけ

違和感や謎を感じるものは、私たちの「不安」をかき立て、
解決意欲を引き出す

① おそらく、こ
いうことだね。

あれ？ どういうこと？
どう解釈すればいいの？

② 解決したい！



だから、あえて違和感や謎を避けない
ようにすることが大切

読解力を身につけるための前提

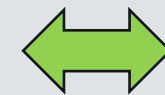
違和感をもつことや自分の理解の不十分さ、曖昧さ、自分は「分かっていない」ということを自覚すること。

(読解する必然性を生み出すこと)

犬山市の読解力向上プログラム

問いをもつ

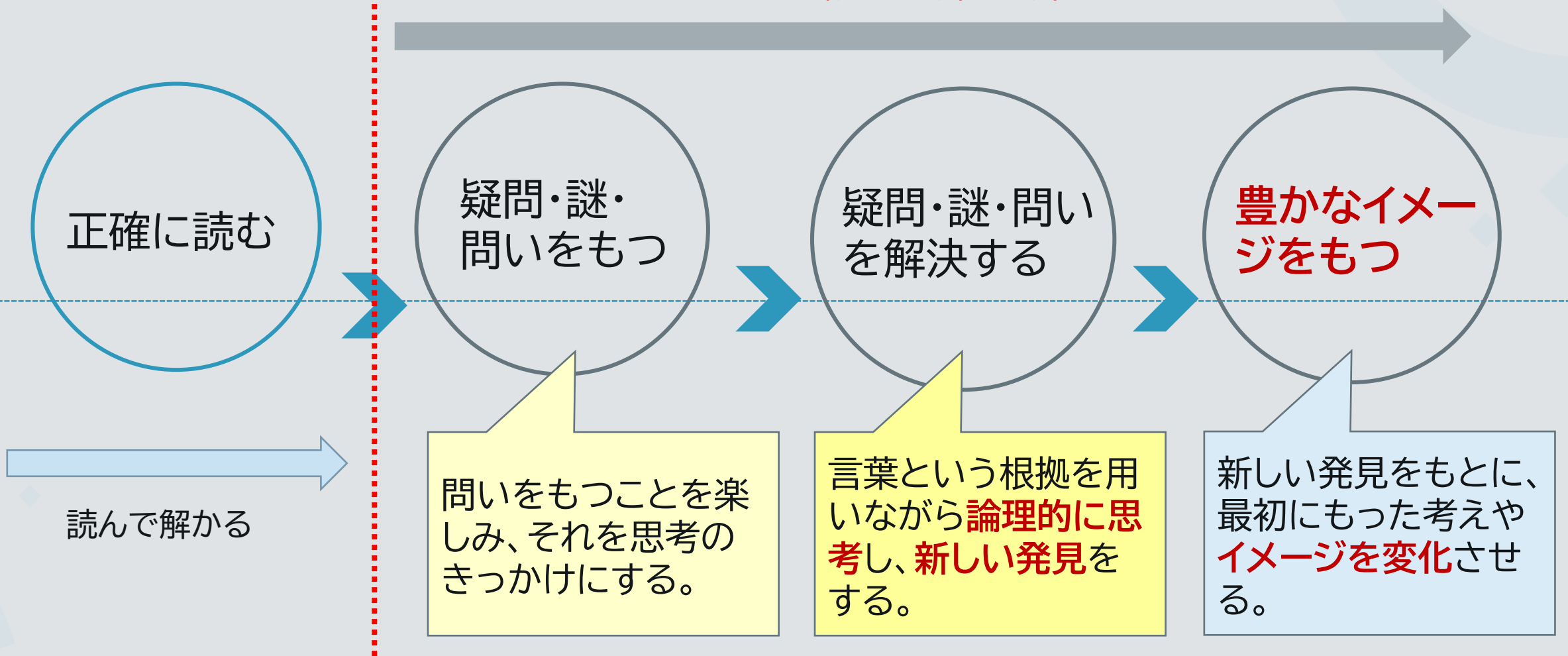
自分の疑問や違和感を大事にする
友だちとの考えの違いを大事にする
教師・大人も分かっていないことを大事にする



RSTテスト等は
問いが与えられる「受け身」な読解

犬山読解の面白さと意義

読んで、解いて解かる



新聞記事から 8月11日朝日新聞朝刊 <ある高校生の声>

言葉って難しい。こう思うことが最近増えた。原因は、その細やかなニュアンスにあるように感じる。

私が属する吹奏楽部の活動での出来事だ。夏のコンクールの時期は特に練習にも熱が入る。ある時、シンバルを担当している私は、先生に「風が吹くように叩いてみなさい」と指示を受けた。その指示があってから、弱々しい音で叩きはじめた私を見かねた友達2人が、一緒に解釈を考えてくれたのだが、驚いたことに3人ともたった一つの言葉に全く別の印象を抱いていたのだ。

自分が日々感じている胸の内を完璧に表現することは、ほぼ不可能に近いのではないかと思う。それに加え今までの経験や境遇によって、ものの感じ方、捉え方は180度変わる。その不十分な条件下で相手を理解することに努めなければならないのだから、やはり言葉は難しいのである。

新聞記事から考える①

「風が吹くように」を読解するには

<根拠となるもの>

「風」「ふく」「よう」の言葉、話し方・表情、
周りの状況・雰囲気、曲の内容・意味、
自分自身の演奏、これまでの練習…



相手(の言葉)を理解



新聞記事から考える②

・・・**相手を理解することに努めなければならない**
のだから、やはり言葉は難しいのである。

そのアイデアは
ユニークだね。



新聞記事から考える③

言葉って難しい。こう思うことが最近増えた。原因は、**その細やかなニュアンスにある**ように感じる。



言葉を知らなければ読解できないのは当たり前。

だから語彙を増やす必要がある。

知らない言葉について、その意味を調べるのは当たり前。

もっと重要なことは・・・

知っている(つもりになっている)言葉の、その「意味」「使い方」「ニュアンス」を確かめること！

相手の発した言葉・書かれた文を正確に理解し、その裏に隠れている内容を推論すること！

新聞記事から考える④

・・・先生に「**風が吹くように**叩いてみなさい」と指示を受けた。



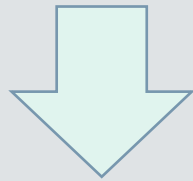
先生も、この言葉では相手に伝わらないということが分かっていない。

相手に伝わる言葉で伝えてこそ、相手とのコミュニケーションを大切にすることになる。その**言葉の選択**ができるような**言葉の蓄積**が必要。



新聞記事から考える⑤

…一緒に解釈を考えてくれたのだが、驚いたことに3人ともたった一つの言葉に全く別の印象を抱いていたのだ。



違った考えのうち、どれが最も適切なのかを解決したくなるきっかけ
(読解力を育てる授業の可能性)



「犬山読解力」の先には

⇒ 「人と向き合う力」「自分と向き合う力」

論理的読解力

自分と立場の違う人の主張を理解する力。身の回りの出来事や問題を自分とつなげて理解するための力

イメージ的読解力

自分とは考えが異なる人、自分と境遇の違う人に対して共感し、人の心を汲み取ることができる力



最近の児童・生徒は？

• 叱責や注意に耐えられない傾向

ちょっと注意したり叱ったりすると、傷ついたり、落ち込んだり、ムツとした表情で言い訳したりする。正当な注意であっても感情的に反発する傾向がある。

• 論理性を無視して判断する傾向

冷静な議論や論理的思考よりも知らず知らずのうちに印象や気分で判断してしまう傾向がある。

• 失敗を過度に恐れる傾向

失敗を恐れて何ごとに対しても躊躇し、やる前から「無理！」と決めつける傾向がある。

• 言葉が生活するための「頼りになる武器」からほど遠くなっている傾向

汎用性の広い便利な言葉、例えば、全てを「ヤバい」「エモい」「キモい」・・・などの一言で済ましてしまう傾向が強い。結果、自分の思いを表現できない、相手の表現が理解できない、言葉の意味を読み取れない、相手の気持ちを察したり、イメージしたりできない、ということが起こる。

最近の児童・生徒は？

- 叱責や注意に耐えられない傾向

忍耐力と自分をコントロールする力を育てる

女性
傷
た表
意であっ
がある。

注意であつて、
傾向
がある。

- 論理性を無視して判断する傾向

事実から論理的に判断し、豊かにイメージする力を育てる

傾向
現
ない、
相手の気持
イメージし
たりできない、ということが起こる。

- 失敗を避ける傾向

失敗を
し、や
傾向が

粘り強さと諦めない
気持ちを育てる

- 言葉が生活するための「頼りになる武器」からほど遠くなっている傾向

汎用性の広い便利な言葉、例えば、全てを「ヤバい」「アホい」「キモい」・・・

傾向
現
ない、
相手の気持
イメージし
たりできない、ということが起こる。

「言葉」を適切に
使う能力を育てる

非認知能力を高める (EQ=情動的知性) ※ゴールマン

対他的能力

他人の心の状態を理解し、それに対応する能力

- ①人の気持ちに共感する
- ②人の立場や意向を想像する
- ③人の言いたいことを理解する
- ④人に自分の気持ちを伝える
- ⑤人と気持ちを通い合わせる

対自的能力

自分の心の状態を理解し、コントロールする能力

- ①自分の感情や欲求に気づく
- ②自分の感情や欲求をコントロールする
- ③自分を鼓舞してやる気にさせる
- ④粘り強くものごとに取り組む
- ⑤ものごとを楽観的に受け止め前向きになる

未来を切り拓く子ども

犬山市のめざす子ども像

自ら学ぶ力を身につけた子ども

対他的能力
(他人の心の状態を理解し、それに対応する能力)

基礎的な学力を身につけ、**家族や友達を大事にし、地域を支え、自分の人生を大切にするとともに、生涯にわたって自ら学び続けようとする**資質や能力を身につけた子ども

対自的能力
(自分の心の状態を理解し、それをコントロールする能力)

犬山読解力の
可能性

犬山読解力の可能性を引き出す 保護者・教員・保育士の役割

① 家庭・学校で、「読解」が必要な場をつくり出すこと

子どもの疑問や違和感に丁寧につきあう

子どもが作った問いをきっかけとした学習

② 保護者、教員、保育士自身が「読解」を楽しむこと

「わかったつもり」にならないで考えてみる

新しい発見をする、イメージを変えることを楽しむ

③ 保護者、教員、保育士自身が、読書をするモデルになること

子どもと一緒に読書を楽しむ

子どもに読書している姿を見せる

END



※参考文献

- 社会につながる国語教室 菅井三実(開拓社)
伸びる子は〇〇がすごい 榎本博明(日経BP)
なぜ、読解力が必要なのか？ 池上彰(講談社α新書)

